

神奈川県警察における週休2日制確保モデル工事実施要領

(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)

1 目的

本要領は、改正品確法の趣旨に基づき、建設業における担い手確保を図る取組みとして、神奈川県警察（以下、「県警」という。）が発注する「週休2日制確保モデル工事（以下、「モデル工事」という。）」の実施にあたり、必要な事項を定めるものである。

2 発注方式

県警が発注するモデル工事は、次のいずれかの方式とする。

なお、一つの工事現場で複数の工事が分離発注される場合は、全ての工事について同一の方式を選択する。また分離発注で受注者希望型を選択する場合、契約後に全ての工事の受注者が合意した上で実施する。

(1) 発注者指定型

発注者が、週休2日に取り組むことを指定する方式をいう。

(2) 受注者希望型

受注者が、週休2日に取り組むか否かを選択できる方式をいう。

3 対象工事

原則として全ての工事をモデル工事の対象として、発注者指定型を基本とするが、現場条件等を考慮して、発注者指定型とすることが適当でないと発注者が判断した場合は、受注者希望型とする。

ただし、社会的要請等により早期の工事完成が望まれる工事等は、モデル工事の対象としないものとする。

4 用語の定義

(1) 週休2日

工事現場において、対象期間内で4週8休以上の現場閉所日又は現場休息日（以下、「現場閉所日等」という。）を設けることをいう。

(2) 完全週休2日

対象期間内で4週8休以上の現場閉所日等を設け、さらに土曜日と日曜日も作業を実施しないことをいう。なお、受注者が降雨・降雪等による工程調整に伴い、土曜日や日曜日に作業を実施した場合には、完全週休2日として扱わない。

(3) 現場閉所日

工事現場において、一日を通して、現場事務所での事務処理も含む一切の作業を実施しない日をいう。ただし、現場管理上必要な保安等の巡回パトロール、通行規制に係る交通誘導、機器類の保守点検等は作業から除くこととする。

なお、降雨・降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めることができるものとする。

(4) 現場休息日

分離発注工事の場合に限り、各発注工事単位で、工事現場において、一日を通して、現場事務所で
の事務処理も含む一切の作業を実施しない日をいう。

なお、保安等の巡回パトロール等及び降雨・降雪等の予定外の現場休息日の扱いは「(3)現場閉所日」
と同様とする

(5) 4週8休以上

対象期間内の現場閉所日等の日数の割合（以下、「現場閉所（現場休息）率」という。）が28.5%
（8日/28日）以上となる状態をいう。

なお、現場閉所（現場休息）率の算出において、現場休息の日数には現場閉所の日数を含む。

(6) 現場着手日

現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等を開始した日をいう。

(7) 現場完成日

施工終了後の後片付け、清掃等の作業が全て完了した日をいう。

(8) 対象期間

モデル工事において、週休2日に取り組む期間のことであり、現場着手日から、現場完成日までの
期間をいう。

なお、年末年始休暇6日間及び夏季休暇3日間はあらかじめ対象期間から除くこととする。

また、現場作業を伴わない工事製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責に因らない
現場作業等を発注者が認めた期間については、その都度、対象期間について、監督員と受注者で協議
し、対象期間から除くこととする。

5 モデル工事の実施

(1) 発注者指定型

ア モデル工事実施の内容

実施にあたっては、次の(ア)から(オ)に取り組むこととする。

(ア) 受発注者は、施工当初段階において、工期全体に影響を与える事項について情報共有することと
する。分離発注工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場休息の予
定日を調整したうえで「実施工程表」を作成する。

(イ) 受注者は、計画を示した週間工程表又は月間工程表を監督員に提出する。

(ウ) 受注者は、当月分の「**現場閉所(現場休息)実績報告書**」(別紙2)を、翌月5日以内に行う工事
報告書の提出と併せて監督員に提出する。

(エ) 受注者は、原則として、工事完成届提出日の30日前までに、(税込設計金額が2億円以上の工事
は45日前)までに、最終月の「**現場閉所(現場休息)実績報告書**」(別紙2)及び対象期間全体の
「**現場閉所(現場休息)履行報告書**」(別紙3)を作成し、監督員に提出する。

(オ) 受注者は、公衆の見やすい場所に、モデル工事である旨を明示する。記載内容は次の例を基本とし、
大きさはA3サイズ以上とする。

※ 記載内容の例

週休2日制に取り組む工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日制の確保に取り組む工事です。

発注者：神奈川県知事 黒岩祐治

受注者：〇〇建設（株）

イ 経費補正の実施

当初の設計金額において、別添「神奈川県警察における週休2日制確保モデル工事実施要領（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）【経費補正について】」（以下、「補正要領」という。）により経費補正を行うものとし、4週8休以上の現場閉所又は現場休息（以下、「現場閉所等」という）が達成できなかった場合には、契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、当該補正分を減額する。

ウ 工事成績評定への反映

4週8休以上の現場閉所等を達成した場合には、「補正要領」により工事成績評定に反映する。

なお、4週8休以上の現場閉所等が達成できなかった場合でも減点を行わないが、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については減点する。

(2) 受注者希望型

ア モデル工事実施の選択

受注者は、契約後、モデル工事の実施の同意・不同意を選択できるものとし、「週休2日制確保モデル工事実施同意（不同意）届」（別紙1）を施工計画書とあわせて発注者に提出する。なお、不同意を選択した場合は、「ウ 経費補正の実施」及び「エ 工事成績評定への反映」は行わないものとする。

分離発注工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないように現場休息の予定日を調整したうえで「実施工程表」を作成する。

イ モデル工事実施の内容

実施要領については、5(1)アの(イ)から(オ)までと同様とする。

ウ 経費補正の実施

現場閉所等の実績に応じて、「補正要領」により経費補正し、契約書第25条の規定に基づき請負代金額を変更する。

エ 工事成績評定への反映

4週8休以上の現場閉所等を達成した場合には、「補正要領」により工事成績評定に反映する。

なお、4週8休以上の現場閉所等が達成できなかった場合及び受注者が不同意を選択した場合であっても減点を行わない。

6 その他

「現場閉所（現場休息）実績報告書」（別紙2）、「現場閉所（現場休息）履行報告書」（別紙3）及び工事報告書の内容に疑義が生じた場合には、発注者は、受注者に疑義の内容についてヒアリング等を行い、その経緯・原因等を確認したうえで、虚偽が明らかになった場合には、工事成績評定の修正等の措置を行う。

【経費補正について】

1 経費補正の実施

(1) 発注者指定型(要領5(1)イ 関係)の補正方法

当初の設計金額において、労務費(設計金額のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を下表の補正係数により補正する。

現場閉所(現場休息)実績		労務費
4週8休以上	【現場閉所(現場休息)率 28.5%(8日/28日)以上】	1.05

(2) 受注者希望型(要領5(2)ウ 関係)の補正方法

下表の現場閉所(現場休息)実績に応じた補正係数により労務費(設計金額のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を補正する。

現場閉所(現場休息)実績		労務費
4週8休以上	【現場閉所(現場休息)率 28.5%(8日/28日)以上】	1.05
4週7休以上8休未満	【現場閉所(現場休息)率 25%(7日/28日)以上28.5%未満】	1.03
4週6休以上7休未満	【現場閉所(現場休息)率 21.4%(6日/28日)以上25%未満】	1.01

(3) 工事費の積算方法

週休2日制確保モデル工事において、現場閉所等の状況に応じ、「(4)単価の補正方法等」に基づき労務費を補正した複合単価及び市場単価等により、設計金額のもととなる工事費の積算を行う。

(4) 単価の補正方法等

工事費の積算に用いる単価の補正方法等は、以下による。

ア 複合単価

複合単価の労務単価は、公共工事設計労務単価に補正係数を乗じて補正する。

なお、交通誘導警備員の労務単価についても同様に補正する。

イ 市場単価等

市場単価及び補正市場単価は、次の表A-2、表E-2及び表M-2の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

- ・市場単価 × 新営補正率
- ・補正市場単価 × 新営補正率

【全館無人改修の場合(基準単価の算定)】

- ・市場単価 × 新営補正率
- ・補正市場単価 × 新営補正率

【執務並行改修の場合（基準補正単価の算定）】

- ・市場単価 × 改修補正率
- ・補正市場単価 × 改修補正率

(参考)

「基準単価」、「基準補正単価」とは、公共建築工事積算基準等資料第4編第1章8(3)による。執務並行改修の場合の基準補正単価は、公共建築工事積算基準等資料第4編第1章8(3)ロ. 基準補正単価の表A-1、表E-1及び表M-1の「市場単価及び補正市場単価改修補正率」によらず、次の表A-2、表E-2及び表M-2の改修補正率を用いた上記の式により市場単価（または補正市場単価）を補正して算定すること。

物価資料の掲載価格（市場単価以外の材工単価）を採用する場合は、掲載価格を、次の表A-2、表E-2及び表M-2の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

- ・物価資料の掲載価格 × 新営補正率

【全館無人改修、執務並行改修の場合】

- ・物価資料の掲載価格 × 改修補正率

※ 上記単価の補正方法等によらない場合は、別に定めるものとする。

表A-2 建築工事の補正率

工 種	※ 摘要	4週8休以上		4週7休以上 4週8休未満		4週6休以上 4週7休未満		備 考
		新営	改修	新営	改修	新営	改修	
		仮設工事		1.03	1.03	1.02	1.02	
土工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
地業工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
鉄筋工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
コンクリート工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
型枠工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
鉄骨工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
既成コンクリート		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
防水工事	市場	1.02	1.09	1.01	1.08	1.01	1.07	
防水工事（シーリング）	市場	1.04	1.17	1.02	1.15	1.01	1.14	
防水工事	物価	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
石工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
タイル工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
木工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
屋根及びとい		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
金属工事	市場	1.02	1.11	1.01	1.10	1.01	1.09	
金属工事	物価	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
左官工事(仕上塗材仕上)	市場	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
左官工事(仕上塗材仕上以外)	市場	1.04	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15	
左官工事	物価	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
建具(ガラス)	市場	1.02	1.12	1.01	1.11	1.01	1.10	
建具(シーリング)	市場	1.04	1.19	1.02	1.17	1.01	1.15	
建具	物価	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
塗装工事	市場	1.04	1.18	1.02	1.16	1.01	1.14	
塗装工事	物価	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
内外装工事	市場	1.03	1.15	1.02	1.13	1.01	1.12	
内外装工事(ビニル系床材)	市場	1.02	1.10	1.01	1.09	1.01	1.08	
内外装工事	物価	1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
内外装工事(ビニル系床材)	物価	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
ユニットその他		1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	
排水工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
舗装工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
植栽及び屋上緑化		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	

※「市場」：市場単価及び補正市場単価 「物価」：物価資料の掲載価格の補正率を示す。

なお、記載がない場合は、市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格に共通の補正率を示す。

表E-2 電気設備工事の補正率

工 種	摘 要	4週8休以上		4週7休以上 4週8休未満		4週6休以上 4週7休未満		備考
		新営	改修	新営	改修	新営	改修	
配管工事	電線管、 2種金属線及び同ボックス	1.04	1.22	1.02	1.20	1.01	1.18	
	ケーブルラック	1.03	1.17	1.02	1.16	1.01	1.15	
	位置ボックス及び 位置ボックス用ボンディング	1.03	1.21	1.02	1.19	1.01	1.18	
	プルボックス	1.02	1.15	1.01	1.14	1.01	1.13	
	プルボックス用設地端子	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	防火区画貫通処理 ケーブルラック用(壁・床)	1.03	1.16	1.02	1.15	1.01	1.14	
	防火区画貫通処理 金属管・丸型用	1.01	1.06	1.01	1.05	1.01	1.06	
	(電動機その他接続材工事) 金属製可とう電線管	1.03	1.17	1.02	1.16	1.01	1.15	
配線工事	600V 絶縁電線及び 600V 絶縁ケーブル	1.03	1.20	1.02	1.18	1.01	1.17	
接地工事	(設置極工事)銅板式、銅覆鋼防、 設置極埋設票(金属製)	1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	

表M-2 機械設備工事の補正率

工 種	摘 要	4週8休以上		4週7休以上 4週8休未満		4週6休以上 4週7休未満		備考
		新営	改修	新営	改修	新営	改修	
保温工事	配管用、ダクト用及び消音内貼	1.03	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15	
ダクト設備	低圧ダクト、 排煙ダクト及び低圧チャンパー類	1.03	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15	
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、 ダンパー等の取付手間のみ	1.04	1.25	1.02	1.23	1.01	1.21	
衛生器具設備 (ユニットを除く)	取付手間のみ	1.04	1.25	1.02	1.23	1.01	1.21	

2 工事成績評定への反映（要領5（1）ウ及び（2）エ 関係）

現場閉所（現場休息）実績に応じて、工事成績評定で下表の加点や減点を行う。

現場閉所（現場休息）実績	加 点
完 全 週 休 2 日	2 点
4 週 8 休 以 上	1 点

現場閉所（現場休息）実績 （※発注者指定型に限る）	減 点
明らかに週休2日に取組む姿勢が見られなかった場合	- 1 点